

平成26年度科学研究費助成事業採択者一覧(新規+継続)

No.	研究種目	所属	職	氏名	研究課題名	研究期間
1	基盤研究(B)	神道文化学部	教授	井上 順孝	宗教文化教育の教材に関する総合研究	H23～H26
2	基盤研究(B)	神道文化学部	教授	石井 研士	戦後の宗務行政が実施した調査の実体解明と宗教団体に及ぼした影響の研究	H23～H27
3	基盤研究(B)	人間開発学部	准教授	寺本 貴啓	初等理科教育におけるデジタルペンを導入した言語力育成システムの開発	H23～H26
4	基盤研究(B)	文学部	教授	佐藤 長門	日本古代の仏教受容と東アジアの仏教交流	H24～H26
5	基盤研究(B)	人間開発学部	教授	猿田 祐嗣	国際比較の観点からみた論理的思考力や科学的表現力に関する分析的研究	H25～H28
6	基盤研究(C)	研究開発推進機構	准教授	内川 隆志	地域文化遺産の再生に関する総合的研究—紀の国屋大蔵の保存と活用—	H25～H27
7	基盤研究(C)	文学部	准教授	井上 明芳	森家所蔵森敦自筆資料による基礎的研究	H25～H27
8	基盤研究(C)	人間開発学部	准教授	林 貢一郎	新規エストロゲン受容体GPER遺伝子多型と動脈硬化の関連性	H26～H28
9	基盤研究(C)	文学部	教授	西村 清和	<美学=感性学>における快と感情	H26～H28
10	基盤研究(C)	文学部	教授	豊島 秀範	源氏物語の新たな本文関係資料の整理とデータ化及び新提言に向けての共同研究	H26～H28
11	基盤研究(C)	文学部	教授	斉藤 こずゑ	映像メディアに基づく子どもに関する表象—発達の解釈への影響と社会文化歴史的変遷	H26～H28
12	基盤研究(C)	人間開発学部	教授	神長 美津子	保育相談力向上をめざす園内研修システムの開発	H26～H28
13	基盤研究(C)	人間開発学部	教授	田沼 茂紀	道徳「教科化」を視座した授業評価の基礎的研究	H26～H28
14	基盤研究(C)	人間開発学部	教授	村上 佳司	学習障害・自閉症スペクトラムの子どもの防災能力に関する研究	H26～H28
15	基盤研究(C)	人間開発学部	准教授	渡邊 雅俊	知的障害児の問題解決における仲間との相互作用の特徴とその援助に関する基礎的研究	H25～H27
16	若手研究(A)	研究開発推進機構	助教	深澤 太郎	伊豆修験と「伊豆峯」辺路の考古学	H25～H26
17	若手研究(B)	文学部	兼任講師	家入 博徳	未調査仮名自筆資料の分析による文字・表記意識の通時的的研究	H23～H26
18	若手研究(B)(H25延長)	文学部	准教授	齋藤 智哉	明治期から昭和初期の学校教育における子どもと教師の「修養」に関する歴史的研究	H24～H25
19	若手研究(B)	文学部	兼任講師	内田 宏美	漢帝国における武器生産と手工業の展開に関する考古学的研究	H24～H26
20	若手研究(B)	研究開発推進機構	客員研究員	中村 耕作	出土状況・セット関係にみる縄文時代中期の儀礼行為に関する基礎的研究	H25～H27
21	若手研究(B)	研究開発推進機構	ポスドク研究員	加藤 久子	民主化と宗教の関係に関する考察:1970年代ポーランドを事例として	H25～H27
22	若手研究(B)	法学部	准教授	甘利 航司	性犯罪者に対する刑事的サンクションについての総合的研究	H26～H28
23	若手研究(B)	研究開発推進機構	助教	塚田 穂高	公有地上宗教施設問題の宗教社会学的研究—実態把握の展開と宗教認識の分析を中心に—	H26～H28
24	若手研究(B)	経済学部	准教授	山本 健太	演劇産業の消費者行動と大都市集積に関する地理学的研究	H26～H27
25	若手研究(B)	文学部	助教	小手川 正二郎	フランス現象学の新局面とその展開可能性	H26～H28
26	研究活動スタート支援	人間開発学部	助教	吉永 安里	小学校国語科の読みと幼稚園領域ことばの教師の教授スタイルに関する研究	H25～H26
27	研究活動スタート支援	文学部	助手	朝倉 一貴	GIS・RSを用いた古代地方官衙と交通路網を主体とする景観復元の基礎的研究	H26～H27
28	特別研究員奨励費	独立行政法人 日本学術振興会	特別研究員	平井 芽阿里	本土在住の沖縄県出身者の家族とコミュニティに関する文化人類学的研究	H24～H26
29	特別研究員奨励費	独立行政法人 日本学術振興会	特別研究員	大道 晴香	大衆文化における<イタコ>像の形成と民俗文化の変容—活字メディアを手掛かりとして	H24～H26
30	特別研究員奨励費	独立行政法人 日本学術振興会	特別研究員	藤井 麻央	初期新宗教における災因論とその歴史的展開—近現代日本の救済観をめぐる考察	H25～H27